

IV 懇話会での意見

□懇話会の開催状況

ふるさとガイドの会会員（18名）

| | |
|------|----------------------------|
| 開催日時 | 平成25年6月15日(土) 午後1時30分～午後3時 |
| 開催場所 | 勤労福祉会館 第2・3会議室 |
| 議 題 | (1)経過と今後の予定について (2)意見交換 |

文化財保護審議会委員と市史編さん委員会委員の合同会（14名）

| | |
|------|----------------------------|
| 開催日時 | 平成25年6月24日(月) 午後2時～午後3時20分 |
| 開催場所 | 市役所 第2会議室 |
| 議 題 | (1)経過と今後の予定について (2)意見交換 |

□主な意見

①市内周辺文化財との連携のあり方：市内周辺文化財等との連携の工夫・アイデアについて

- ・寺院や県植木センターなど国分地区を巡る散歩道の整備、三宅川を利用した散歩道の整備
- ・観光協会、商工会議所等とのタイアップで探訪コースを立案。現在あるサイクリングロードの活用といろいろなコース（歩・自転車・車）を選び、そして（ガイド付き）宣伝体験をする。
- ・コース別のパンフレットを作成、周辺地形をめぐる散策コースの検討。コミュニティーバスの充実、自転車道と散歩道を整備
- ・文化財巡り、文化財スタンプラリーなど大人はもちろん子どもたちが気軽に参加できる企画と学校からの文化財見学会や発掘現場の説明会を開催する。
- ・拠点地を作り駐車スペースが多くとれる所（例）下水道科学館、植木センター、市役所等にレンタサイクルを置く。休日は屋根付き自転車タクシー運行

②市民の教育・啓発のための施設（ガイダンス施設など）のあり方・使い方について

- ・小・中学生が学べる。（学校の勉強会、教材の編集、郷土学習）
- ・大人も学べる。（施設の中で市民講座の開催、親子で参画できる教育プログラム）
- ・体験型の教室を設置する。（土器作り、古文書）、稲沢の文化を紹介する施設も併設（ガイダンス施設）、稲沢市の歴史の全体が捉えられる内容を展示する施設
- ・常駐施設・活動拠点及び研修施設（ふるさとガイドの会や文化財愛護少年団）

- ・拠点づくり：尾張国分寺の建設された時代背景や史跡の内容・特徴をわかりやすく解説する資料展示・映像など利用、学習施設併設
- ・全国の国分寺跡サミットや街道サミットなどを催し、他の史跡を活用されている地を訪ねて稲沢市独特のものを考える。
- ・埋蔵文化財の可視化を！（ジオラマ・CG等）、幼稚園や保育園、小・中学校の遠足、社会見学等に出かけてもらうようにする。クイズラリーや体験イベントを定期的に行う。
- ・映像、CGなどで子どもにも見て分かる楽しく学べる施設、歴史講座や文化講座の開催
- ・施設等を中心にしたイベント（とにかく知ってもらい、来てもらう）科学系だと大学のおもしろいイベントサークル、お金があれば「ぜんじろうさん」のような人。歴史系なら武将隊、姫隊、歴史衣装仮装コンテスト、和太鼓等
- ・博物館の中に学習施設を設け、小・中学生及び他の人々に貸し研究授業に使う。
- ・休処・博物館ガイドの案内所を設置、ふるさとの会の会員の講師を派遣
- ・尾張国分寺跡、植木センター、矢合、美濃路、国府宮、他、食事所をセットして一巡りできるよう、各所に駐車施設を整備
- ・観光物産の啓発“ギンナン”“ほうれんそう”等の観光特産及び食料・食品の食物コースの発表会を催すなど活用すると良い。
- ・道の駅のような施設は地域の活性化に大賛成、民間の活力を大いに利用する。

③普及啓発活動に関する意見

【学校教育】

- ・市内の小・中学生が地域の歴史を学ぶ場として活用
- ・市内全域の小・中学生による遠足や社会見学等の校外学習の場として活用
- ・副読本のような学ぶテキスト作成、給食のメニューに古代食に似せたものを入れる。

【地元向けの生涯学習】

- ・市民参加の歴史講座など生涯学習の場として活用
- ・尾張国分寺跡や市の歴史に関しての企画や展示を充実させ関心を持ってもらう。

【体験学習】

- ・土器作りや古代衣装試着などの体験メニューの実施

【祭り・イベント】

- ・地域・市民イベントの開催（尾張国分寺跡まつり、花の観賞会、武将隊、姫隊、歴史衣装仮装コンテスト、和太鼓など）

【地区内を巡るイベント】

- ・史跡巡りや健康増進の一環としてウォークラリー、スタンプラリーの開催
- ・地域資源とのネットワークを強化し、地域の魅力を高めるための市観光周遊ツアーなど開催

【地域の交流の場】

- ・植木、苗木の「緑の公園」として「市民憩の場」とする。
- ・史跡に関わる地域住民との対話の場を定期的を開く。
- ・夏に盛大な盆踊り大会を開催（市民による草取り、ゴミの始末）

【産業のPR】

- ・植木、苗木産業のPR、販売の場として活用
- ・“ギンナン”“ほうれんそう”等の特産品や食物コースの発表会の場として活用

【その他】

- ・「尾張国分寺跡の日」を設ける。マスコミで取り上げてもらう。（ケーブルTVなど）
- ・歴史検定試験の実施

④情報発信に関する意見

【ホームページなど】

- ・市のホームページやインターネット、スマートホンの活用。CGなどでより具体的に紹介
- ・携帯型端末の利用をはじめITを活用した案内システムの整備・運用

【案内看板やパンフレット】

- ・駅などに尾張国分寺跡の案内看板を設置
- ・パンフレット、マップ等を作成・配置
- ・周辺文化財や文化施設とも関連づけて見学コース等を設定し、散策マップや道標、説明板の整備を展開

【説明会や講演会】

- ・発掘調査現地説明会を引き続き実施
- ・尾張国分寺跡出土資料の展示公開
- ・出前授業の開催（地元史跡や文化財の紹介）
- ・定期的な学習会・歴史講座・文化講座・研修会・市民フォーラム・討論会などの開催

⑤管理運営等の担い手に関する意見

- ・個々の市民
- ・地元自治会
- ・植木生産者、造園家
- ・ふるさとガイドの会
- ・文化財愛護少年団、みどりの少年団
- ・市外も含めた民間企業
- ・NPO・市民団体
- ・行政（市の教育委員会など）
- ・学校（小学校、中学校、高校、大学）
- ・青年会議所、商工会議所、観光協会
- ・いなっピーやラヴィーナ30
- ・その他、これらの連携による組織など

⑥住民協働で、維持管理をどのように進めていくか（史跡を活かす環境のあり方：市民、住民としてできる周辺環境整備への協力や応援の内容）について

- ・ボランティアを集め、文化財愛護少年団の子どもたちとも連携した進め方が良い。
- ・みどりの少年団の活用
- ・植木生産者、造園者、住民が協働し、矢合地区を京都にみられる様な散策路にしたい。（花の植え込み等も住民が協力する。）
- ・青年会議所、商工会議所、地元企業を巻き込んでのPR
- ・観光協会、商工会議所等とも関係を密にし、知識を高め合いながら魅力あふれるコース別のパンフレットを作成する。
- ・名鉄やJRハイキングとのタイアップ
- ・法人を設立し民間委託する。
- ・寄付金を集め、博物館建設する。
- ・ふるさとガイドの会によるボランティア活動
- ・尾張国分寺跡やその他の文化財等のガイドができるボランティアをさらに育成する。文化財等の案内や、造られた施設の管理等を協力してもらえる組織を作る。
- ・出来るだけ、ボランティアに周辺整備をお願いする。
- ・高齢者の活用
- ・「矢合文化エリア保全会（仮称）」を地域に立ち上げる。史跡を守る会の立ち上げ、(地元中心で) 独立した尾張国分寺跡ガイドの会を作る。
- ・「尾張国分寺跡サポーターズクラブ」または「尾張国分寺跡ご縁隊」を組織する。多少の会費を納めてもらい会員証を発行する。勉強会や草取り等を定期的実施する。
- ・NPO を立ち上げる。
- ・人材の育成（ボランティア）に重点をおいて協力をお願いする。
- ・棚田のようにオーナーを募り、実のなる木、花畑等を年々整備していく。
- ・まちづくり活動の中に史跡を活かし、環境保全を進める活動をお願いする。
- ・いなっピーやラヴィーナ 30 の力を借りて拡大

V 稲沢市尾張国分寺跡史跡保存整備委員会などの名簿

稲沢市尾張国分寺跡史跡保存整備委員会

| 氏名 | 所属等 | 備考 | |
|------|------------------|------------------|----------|
| 井口喜晴 | 高浜市やきものの里かわら美術館長 | 委員長、考古学、専門委員 | |
| 柴垣勇夫 | 愛知淑徳大学教授 | 委員長職務代理、考古学、専門委員 | |
| 梶原義実 | 名古屋大学大学院准教授 | 考古学、専門委員 | |
| 杉野 丞 | 愛知工業大学教授 | 建築史学、専門委員 | |
| 西宮秀紀 | 愛知教育大学教授 | 古代史学、専門委員 | |
| 丸山 宏 | 名城大学教授 | 造園学、専門委員 | |
| 近藤 修 | 稲沢市文化財保護審議会会長 | | |
| 小川正元 | 地元有識者 | 国分寺前住職 | |
| 山田宗廣 | 地元有識者 | 元市議会議員 | |
| 橋本 亮 | 矢合本郷区長 | | 平成 24 年度 |
| 大崎岑雄 | 矢合本郷区長 | | 平成 25 年度 |
| 岩瀬俊英 | 矢合西脇区長 | | 平成 24 年度 |
| 大崎重幸 | 矢合西脇区長 | | 平成 25 年度 |
| 間瀬恒則 | 矢合新田区長 | | 平成 24 年度 |
| 前野勝由 | 矢合新田区長 | | 平成 25 年度 |
| 吉田錠次 | 堀之内区長 | | 平成 24 年度 |
| 八木峰夫 | 堀之内区長 | | 平成 25 年度 |
| 真野宏男 | 副市長 | | |
| 林 敏仁 | 教育長 | | |
| 篠田智徳 | 市長公室企画政策課長 | | |
| 石原康夫 | 経済環境部次長兼商工観光課長 | | |
| 岩間福幸 | 経済環境部農務課長 | | |
| 高木信治 | 建設部次長兼都市計画課長 | | |
| 森本嘉晃 | 建設部用地管理課長 | | |

稲沢市尾張国分寺跡史跡保存整備委員会専門部会

| 氏名 | 所属等 | 備考 |
|------|------------------------------|---------|
| 井口喜晴 | 高浜市やきものの里かわら美術館長 | 部会長、考古学 |
| 梶原義実 | 名古屋大学大学院准教授 | 考古学 |
| 柴垣勇夫 | 愛知淑徳大学教授 | 考古学 |
| 杉野 丞 | 愛知工業大学教授 | 建築史学 |
| 西宮秀紀 | 愛知教育大学教授 | 古代史学 |
| 丸山 宏 | 名城大学教授 | 造園学 |
| 野口哲也 | 愛知県教育委員会事務局 生涯学習課文化財保護室主査 | オブザーバー |

稲沢市尾張国分寺跡史跡保存整備庁内連絡協議会委員

| 所属 | 氏名 | 補職名 | |
|------------|------|-----|----------|
| 市長公室企画政策課 | 吉川修司 | 主査 | |
| 経済環境部商工観光課 | 桑田裕子 | 主幹 | |
| 経済環境部農務課 | 中島 稔 | 主査 | |
| 建設部都市計画課 | 吉田 昇 | 主幹 | |
| 建設部用地管理課 | 河村栄治 | 主査 | 平成 24 年度 |
| 建設部用地管理課 | 鈴木泰和 | 主幹 | 平成 25 年度 |

事務局

| 所属 | 氏名 | 補職名 | |
|---------------|------|-----|----------|
| 教育委員会 | 吉川達昭 | 部長 | 平成 24 年度 |
| 教育委員会 | 古川正美 | 部長 | 平成 25 年度 |
| 教育委員会事務局生涯学習課 | 榊山隆夫 | 課長 | |
| 教育委員会事務局生涯学習課 | 北條献示 | 主幹 | |
| 教育委員会事務局生涯学習課 | 日野幸治 | 主幹 | 平成 25 年度 |
| 教育委員会事務局生涯学習課 | 田中俊輔 | 主任 | |